

産業構造審議会
グリーンイノベーションプロジェクト部会
エネルギー構造転換分野ワーキンググループ説明資料

Denka

Possibility
of
chemistry

革新的カーボンネガティブコンクリートの 材料・施工技術及び品質評価技術の開発

デンカ株式会社
代表取締役社長 今井 俊夫

共同提案者 鹿島建設株式会社（幹事企業）
デンカ株式会社
株式会社竹中工務店

2022年 11 月2日

- 当社経営計画と本事業の位置付け
- カーボンニュートラルに向けた取り組み
- 開発技術概要
- 開発技術の事業展開と戦略
- 標準化・社会実装に向けた取り組み
- 事業推進体制

経営計画における

Denka Value-Up

の三つの柱

事業
Value-Up



誰よりも
上手にできる
仕事への集中

環境
Value-Up



2050年度
カーボンニュートラル
の実現

人財
Value-Up



社員全員が
成長を実感
できる企業に

高付加価値インフラ事業, 環境対策事業 ⇒ 本事業の活用³

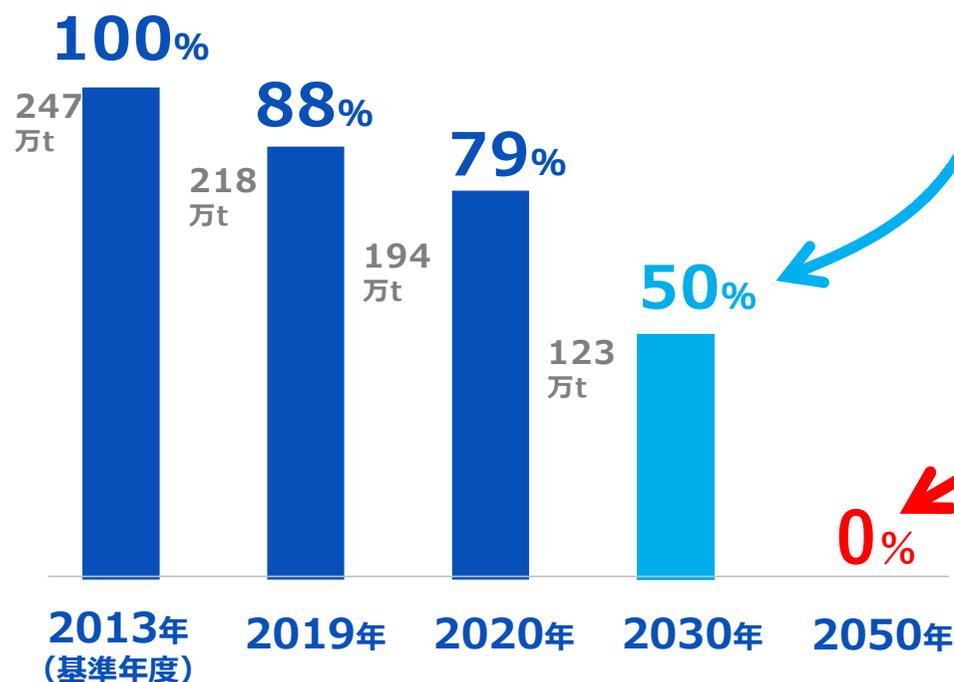


環境Value-Up

2050年度の

「カーボンニュートラル」を目指す

2030年度においても2013年度比 **50%削減**



1. 自社事業所での排出削減
2. バリューチェーンでの排出削減
3. 事業ポートフォリオの変革

環境貢献製品や環境負荷低減技術の提案

社会全体のカーボンニュートラルの実現へ

- 材料開発 (CO₂固定化材料)
 - ・CO₂と反応し硬化する特殊材料の開発
 - ・未利用資源の活用
 - ・脱炭素エネルギーによる製造技術



未利用資源

+



エネルギー転換



CO₂固定化材料

- 炭素量の定量化
 - ・CO₂固定量の評価手法の確立
 - ・各種測定装置・方法の最適化



炭素量・熱分析等

ターゲットとする市場

世界の**環境配慮型コンクリート市場**

事業収益

- ① 世界各地での製造・販売による収益
- ② 知財ライセンス（技術供与等）



市場獲得のための戦略

標準化・知財化戦略による早期の市場形成

【標準化（国内）】

- ・JIS（2～3年以内）

【標準化（海外）】

- ・ISO（JISと同時に検討）
- ・東南アジア等の近隣諸国との枠組みも検討

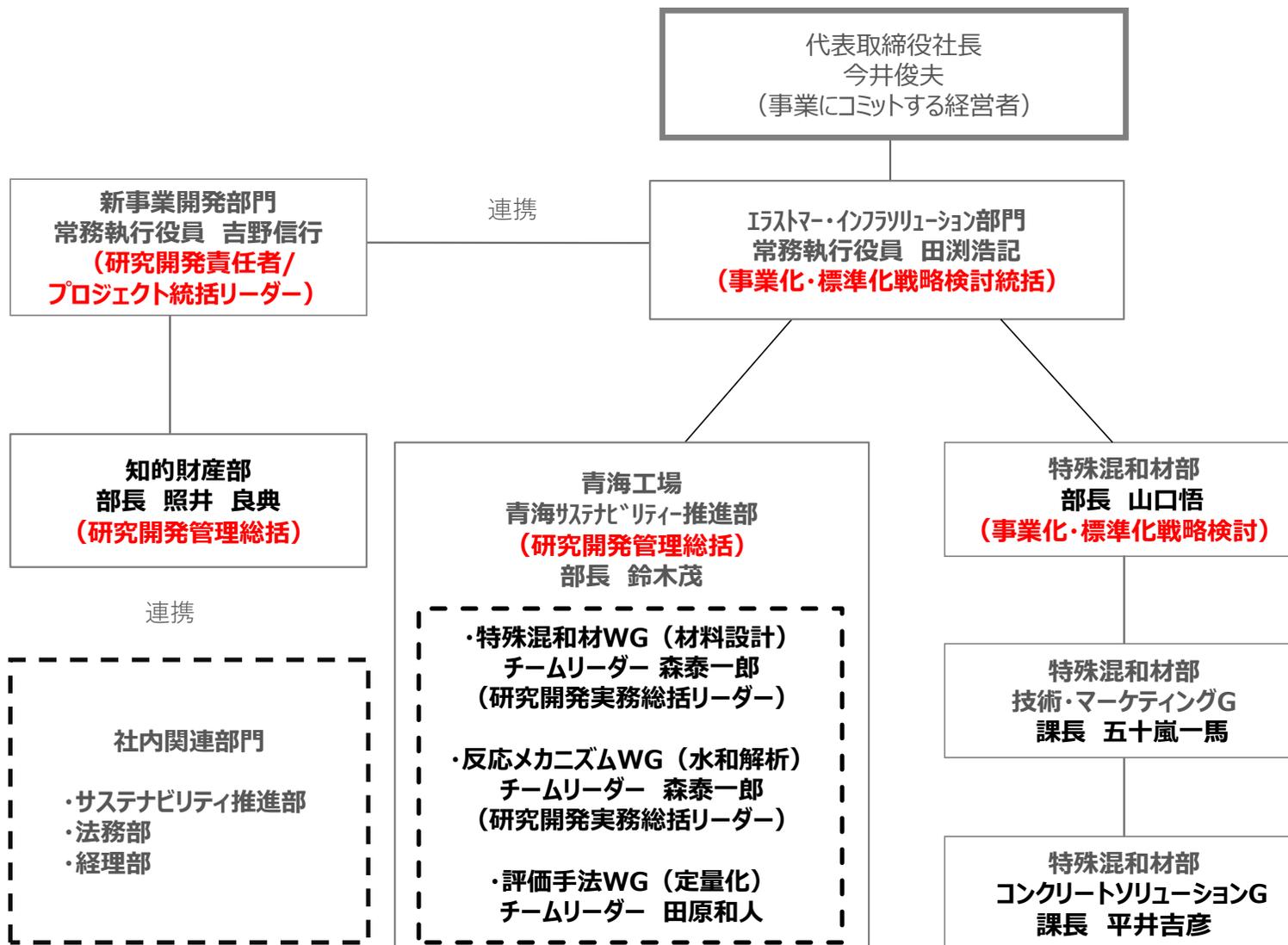
【民間認証】

- ・学協会（土木学会、建築学会等）との連携による
業界コンセンサス形成

【ノウハウ・知財化】

- ・技術のオープン、クローズ戦略を明確化し、柔軟かつ
迅速に対応

CO₂固定型コンクリート 社会実装・標準化戦略体制



- 事業化・標準化戦略担当
 - ・統括責任者
常務執行役員 田淵浩記
 - ・事業化・標準化戦略担当
特殊混和材部/部長 山口 悟
 - ・研究開発担当
青海サステナビリティ推進部/
部長 鈴木 茂
- 知財化戦略担当
 - ・統括責任者
常務執行役員 吉野信行
 - ・知的財産担当
知的財産部/部長 照井 良典

以上、ありがとうございました。

Possibility of chemistry

Denka